

平成 26 年度 第 2 回理事会議事録

日 時：平成 26 年 10 月 5 日（日）10 時～12 時 30 分

場 所：山陰労災病院 3F 会議室

出席者：植嶋、湯田、岡田、木下、藤井、原、中井、河上、先灘、国政、野上、下廣
那須野、西村、佐々木（豪）、佐藤、岡本、杉原 [出席：18/19]

欠席者：佐々木（崇）

議 長：植嶋

記 録：先灘

議事録署名人：下廣、那須野

議題

1. 第 40 回鳥取県医学検査学会進捗状況報告(原理事)

◆進捗報告

- ・ 10 月 19 日（日）10：00 から倉吉シティホテルにて開催
- ・ 演題数 12 題（技師 7 題・学生 5 題）
- ・ ランチョンセミナーは栄研化学に依頼
- ・ 13：30 より学術部研修会を行う。輸血関連（BIOLAD）採血関連（積水メディカル）
- ・ 微生物の座長は大学病院と市立病院の技師で行う。
- ・ 感染部門の部門長は来年度の学会も押し迫っているため現在打診中。
- ・ 現在、懇親会参加者（技師会）は 16 名である。来年度学会を控えていることから出来る限り参加していただきたい。

◆演題数調整について

- ・ 演題は数調整を行わず、すべて受け入れる方向とする。（※要査読）

2. 全国検査と健康展進捗状況報告(下広理事)

◆進捗報告（検査と健康展）

- ・ 11 月 16 日（日）9 時～12 時 米子イオン 1 階広場（会場費は無料）にて開催。
- ・ 内容：パネル展示、簡易検査（血糖・血管年齢）先着 80 名、顕微鏡での血液像観察、医師による健康相談。血液像については個人情報保護の必要性を確認する。（抵触の可能性があれば無理をしない）
- ・ 診療所開設許可は湯田理事が対応する。
- ・ 広報米子に掲載予定。中海テレビにも取材を打診する。新聞掲載については金額次第とする。
- ・ 日臨技から事業に対して 50 万円補助が出るためすべて使い切るように予算を立てる。
- ・ パネル展示はアクティブプロにお願いする。

◆進捗報告（公開講座）

- ・ 11 月 16 日（日）13 時～15 時 米子イオン内ガイナックスシアター（約 100 席）にて開催。

- ・ 内容：『(仮) 生活習慣病について』講師の先生の専門に合わせてサブタイトルをつける。講師は学術部、渉外、理事で探す。公演時間は 60～90 分を予定。
- ・ 健康展は補助対象であるが、公開講座は補助対象外（乳がん啓発・STD など）
- ・ チラシ、PF には健康展と公開講座を両方掲載する。

3. 検査説明できる検査技師研修会進捗状況報告(湯田理事)

◆進捗状況報告

- ・ 鳥取県は平成 27 年 2 月 7～8 日の 2 日間で研修会を実施する。
- ・ 平成 26 年 10 月 12～13 日に岡山で研修会が行われるので、湯田理事が視察予定。視察内容を 10 月 19 日の医学検査学会にて報告する。
- ・ 今回の岡山研修会は 40 名の参加見込み。3 年間で会員の 1 割を養成する方針であるため、鳥取県では 30 名を予定する。

4. 技師会ホームページの会員専用ページ改修について(湯田理事)

- ・ 既存ホームページ機能拡張開発料 135,000 円、SSL 認証 39,800 円（年間）。SSL については年額であるため必要性の有無を含め導入の検討を行う。
- ・ 名簿作成については JAMTIS 経由で情報を取り出す作業が必要であるが、JAMTIS にメールアドレスを入力していない場合や、担当部署の変更が行われていなければ情報として有用ではない。情報入力・修正を促す手段を検討する必要がある。また機能拡張の面でも問い合わせ方法など運用を検討する必要がある。
- ・ 取り急ぎ名簿の情報が必要な学術部については現時点での JAMTIS データを利用する。

5. その他

◆鳥取がん対策表彰

- ・ 県内医療職（検査技師含む）で 20 年以上がん対策に従事している方が表彰の対象となる。検査技師会からも 1 名選出する。推薦期限は 11 月 20 日まで。

◆平成 26 年度鳥取県精度管理調査

- ・ 今回の精度管理調査は、日臨技の精度管理調査システムを使用した。開発会社の方に直接使用方法について研修を受ける（野上理事）。出張費は技師会が負担する。

◆第 48 回中国四国医学検査学会

- ・ 会計専用の端末が必要であるため理事会で購入が必要である（先灘）。インターネットが出来る環境の PC で 10 万円以内での購入を許可された。会計ソフトについては以前技師会で購入しているソフトを使用する。
- ・ 来年度の中国四国支部学会の支部表彰は 35 歳以下の会員 3 名を表彰する。
- ・ 愛媛学会の演題数は 211 題であった。技師数からすると鳥取は最低 60 題が必要。

◆地域ニューリーダー育成研修会

- ・ 下広理事にお願いする。出張費は技師会が負担する。

◆日臨技精度管理保障精度

- ・ 直接日臨技に申請する方式となったため、鳥取県内施設に広報を行う。

◆検体採取特定研修

- ・ 中国四国ブロックは岡山県と広島県で行う。ただし島根県と鳥取県合わせて 300 名以上の受講者があれば開催地を両県のどちらかで行ってもよいとのことであるため、植嶋会長と島根県会長とで話していただき方向性を検討する。

次回理事会：未定

以上をもって議事を全て終了し、12 時 30 分に閉会した。

この議事が正確であることを証するため、議長および議事録署名人は次に署名、捺印する。

平成 26 年 10 月 5 日

議 長 _____ (印)

監 事 _____ (印)

監 事 _____ (印)

議事録署名人 _____ (印)

議事録署名人 _____ (印)